

2027年3月期 第1四半期

決算補足説明資料

2026年 8月 7日

三櫻工業株式会社

(証券コード：6584 東証プライム)

- 2027年3月期 第1四半期 連結損益状況
- 2027年3月期 第1四半期 セグメント別実績
- 2027年3月期 第1四半期 営業外及び特別損益等
- 2027年3月期 第1四半期 営業利益分析
- 2027年3月期 第1四半期 連結財務状況：対前期末
- 2027年3月期 第1四半期 連結キャッシュ・フローの状況
- 参考情報：セグメント別四半期業績推移

2027年3月期 第1四半期 連結損益状況



	2026年3月期 第1四半期 実績		2027年3月期 第1四半期 実績				2027年3月期 通期予想 (2026年5月14日発表)	
	金額 (百万円)	売上高比 (%)	金額 (百万円)	売上高比 (%)	対前年同期		金額 (百万円)	進捗率 (%)
					増減額 (百万円)	増減率 (%)		
売上高	40,263	100.0	42,780	100.0	+2,518	+ 6.3	167,000	25.6
営業利益	2,250	+ 5.6	938	+ 2.2	▲1,313	▲ 58.3	5,500	17.0
経常利益	1,893	+ 4.7	763	+ 1.8	▲1,130	▲ 59.7	3,500	21.8
親会社株主に帰属する 四半期純利益	697	+ 1.7	8	+ 0.0	▲689	▲ 98.8	1,500	0.5

● 2027年3月期 第1四半期業績概要（対前年同期）

- 売上高: 日本での前期の新規立上による販売の寄与が剥落したものの、北南米での新規連結や関税補償の獲得、為替換算の影響により増収。
- 営業利益: 日本での前期の新規立上による販売の寄与が剥落したことに加え、北南米における新規立上費用の増加、メキシコペソ高に伴う為替影響、関税措置の価格転嫁の一部未了、欧州での一時費用計上の影響により▲1,313百万円の減益。
- 経常利益: 為替差益を計上したが、営業利益減の影響が大きく▲1,130百万円減益。
- 純利益: 前期発生したドイツ子会社の特別退職金計上が今期はなかったものの、経常利益減の影響が大きく▲689百万円の減益。

● 為替レート

損益換算レート (単位: 円)	2026年3月期 第1四半期 平均レート	2027年3月期 第1四半期 平均レート	変動率
ドル	152.6	156.9	+3%
ユーロ	160.5	183.7	+14%
メキシコペソ	7.5	8.9	+20%
人民元	20.9	22.7	+8%
インドルピー	1.7	1.7	-
タイバーツ	4.5	5.0	+10%
ロシアルーブル	1.6	2.0	+22%
ブラジルリアル	26.1	29.8	+14%

2027年3月期 第1四半期 セグメント別実績

	売上高			営業利益		
	2026年3月期 第1四半期 実績	2027年3月期 第1四半期 実績	対前年同期 増減	2026年3月期 第1四半期 実績	2027年3月期 第1四半期 実績	対前年同期 増減
	実績 (百万円)	実績 (百万円)	実績 (百万円)	実績 (百万円)	実績 (百万円)	実績 (百万円)
日本	13,482	12,097	▲1,385	685	427	▲258
北南米	16,946	20,017	+3,071	877	251	▲627
欧州	5,052	5,644	+592	91	▲151	▲242
中国	2,955	2,180	▲774	▲181	▲234	▲52
アジア	7,514	8,118	+604	841	752	▲89
連結調整	▲5,686	▲5,276	+410	▲63	▲107	▲45
合計	40,263	42,780	+2,518	2,250	938	▲1,313

● 2027年3月期 第1四半期 地域別業績のトピックス（対前年同期）

日本
【減収・減益】

売上高は、前期の高単価新規立上による販売の寄与が剥落したことに伴い減収。
営業利益は、子会社買収費用は当期に発生していないものの、減収の影響により減益。

北南米
【増収・減益】

売上高は、北米における日系取引先で安定した販売を維持し、関税補償収入の獲得、またメキシコ子会社の新規連結により増収。
営業利益は、新規立上準備に伴うコスト増に加え、関税措置の価格転嫁が一部未了による影響、為替影響により減益。

欧州
【増収・営業損失】

売上高は、前年同期並みの販売を維持し、為替換算影響により増収。
営業利益は、人員削減効果はあったものの、棚卸差額による損失計上により営業損失となる。

中国
【減収・営業損失】

売上高は、中国子会社清算の他、日系取引先の販売不振が継続し、減収。
営業利益は、前期に計上した固定資産減損により償却費減となるも、中国子会社清算に伴う売上減や損失計上により減益。

アジア
【増収・減益】

売上高は、インドでの販売増に加え為替換算影響により増収。
営業利益は、中東情勢や為替影響による材料・エネルギーコストの上昇に加え、人件費の増加により減益。

2027年3月期 第1四半期 営業外及び特別損益等



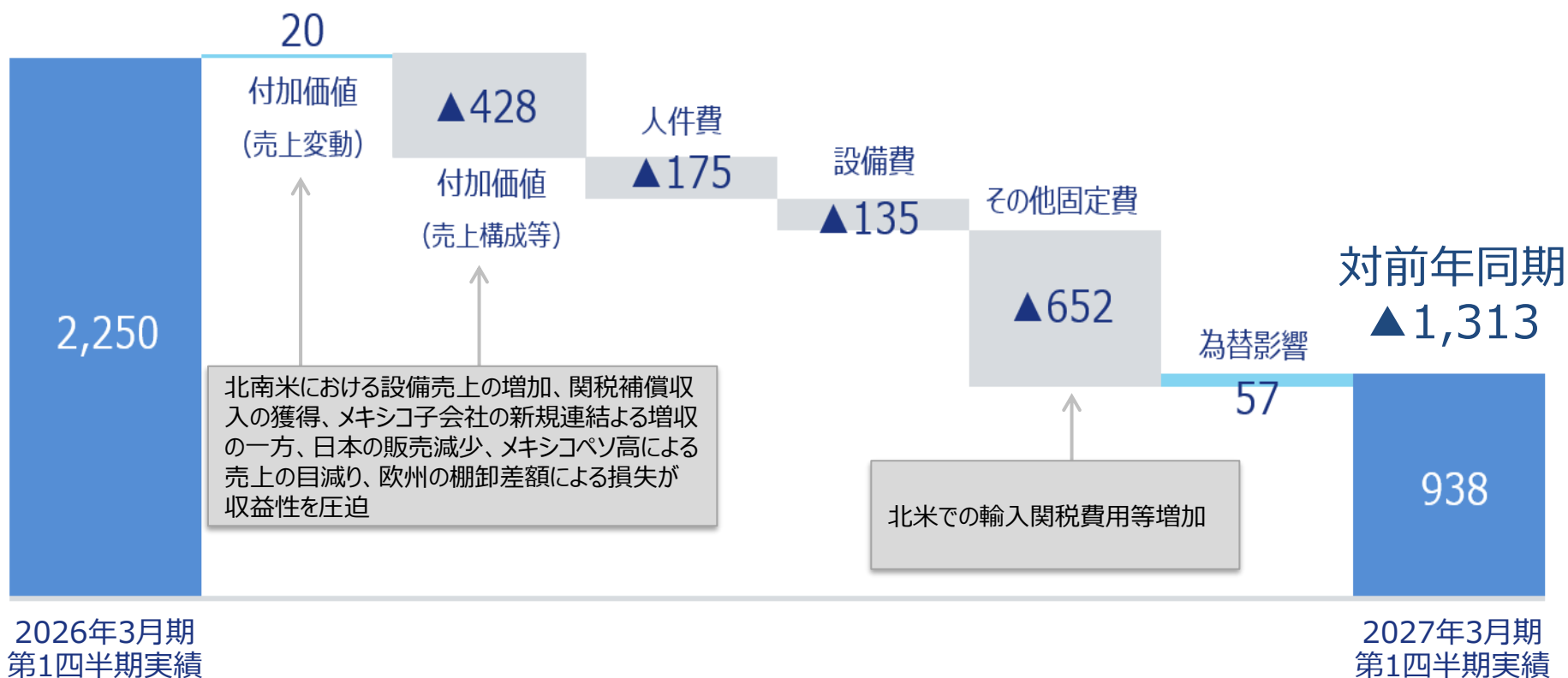
(増減額の符号は対利益符号)

連 結		2026年3月期 第1四半期 実績	2027年3月期 第1四半期 実績		主な増減要因 (金額は百万円)	
		金額 (百万円)	金額 (百万円)	対前年同期		
				増減額 (百万円)		増減率 (%)
営業利益		2,250	938	▲ 1,313	▲ 58.3	
営業外 損益	営業外収益	191	387	+ 195		受取利息 +22 為替差益 +168(前期0 → 今期+168)
	営業外費用	549	561	▲ 13		為替差損 +199(前期▲199 → 今期0) 支払利息 ▲106
経常利益		1,893	763	▲ 1,130	▲ 59.7	
特別利益		10	96	+ 87		関係会社整理損失引当金戻入額 +53 固定資産売却益 +34
特別損失		207	11	+ 196		特別退職金 +194 (前期▲194 → 今期0)
税引前四半期純利益		1,695	848	▲ 848	▲ 50.0	
法人税等		765	585	+ 180		
非支配株主利益		233	255	▲ 22		
親会社株主に帰属する 四半期純利益		697	8	▲ 689	▲ 98.8	

2027年3月期 第1四半期 営業利益分析

北南米での設備売上の増加・関税補償収入の獲得、メキシコ子会社の新規連結による増収の一方、日本での販売減少、メキシコペソ高に伴う外貨建て売上の目減り、欧州での棚卸差額による損失の計上等により収益性が悪化し、前年同期比では大幅減益となる。

(単位：百万円)



注：付加価値（売上変動）＝ 連結全体の売上増減（為替補正後） × 前年同期付加価値率（為替補正後）

2027年3月期 第1四半期 連結財務状況：対前期末

連 結		2026年3月期末		2027年3月期 第1四半期末			
		実績 (百万円)	構成比 (%)	金 額 (百万円)	構成比 (%)	対前期末増減額 (百万円)	主な増減要因 (百万円)
	流動資産	83,377	58.7	85,050	58.9	+ 1,673	総資産 : +2,349 増加 ① 現金及び預金 ▲1,141 ② 営業債権 +1,941 ③ 棚卸資産 +883 ④ 有形固定資産 ▲122 ⑤ 投資有価証券 +692
	固定資産	58,553	41.3	59,228	41.1	+ 676	
	資産合計	141,929	100.0	144,278	100.0	+ 2,349	
	流動負債	52,982	37.3	55,535	38.5	+ 2,553	負債総額 : +2,401 増加 ⑥ 営業負債 +275 ⑦ 短期借入金 +899 ⑧ 貸与引当金 +730 ⑨ 流動負債(その他) +1,394 ⑩ 長期借入金 ▲256
	固定負債	36,979	26.1	36,827	25.5	▲ 152	
	負債合計	89,961	63.4	92,362	64.0	+ 2,401	
	純資産合計	51,968	36.6	51,916	36.0	▲ 52	純資産 : ▲52 減少 ⑪ 利益剰余金 ▲501 ⑫ その他有価証券評価差額金 +465 ⑬ 為替換算調整勘定 +476 ⑭ 非支配株主持分 ▲496
負債純資産合計		141,929	100.0	144,278	100.0	+ 2,349	

(注1) D/E レシオ…前期末 1.19 → 当四半期末 1.19

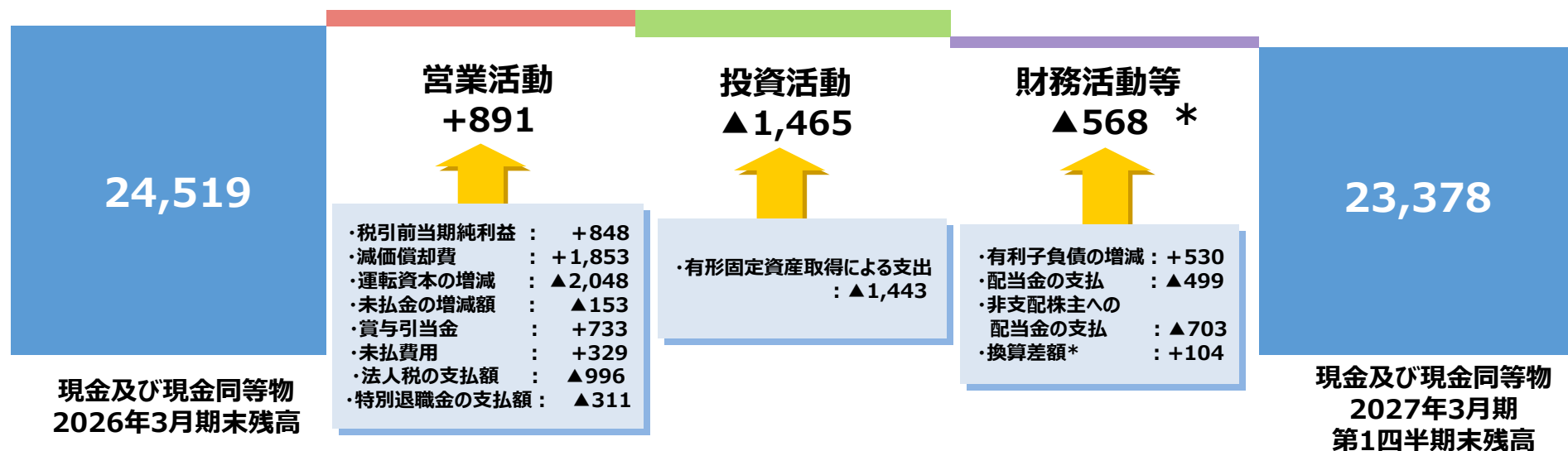
(注2) 自己資本比率…前期末 33.8 → 当四半期末 33.6

	前期末	当四半期末
①有利子負債	57,219	57,856
②自己資本	48,003	48,447
①/②	1.19	1.19

2027年3月期 第1四半期 連結キャッシュ・フローの状況

● 2027年3月期 連結キャッシュ・フローの状況

(単位：百万円)



* 現金及び現金同等物に係る換算差額（+104百万円）を財務活動に含めております。

● 設備投資/減価償却の状況

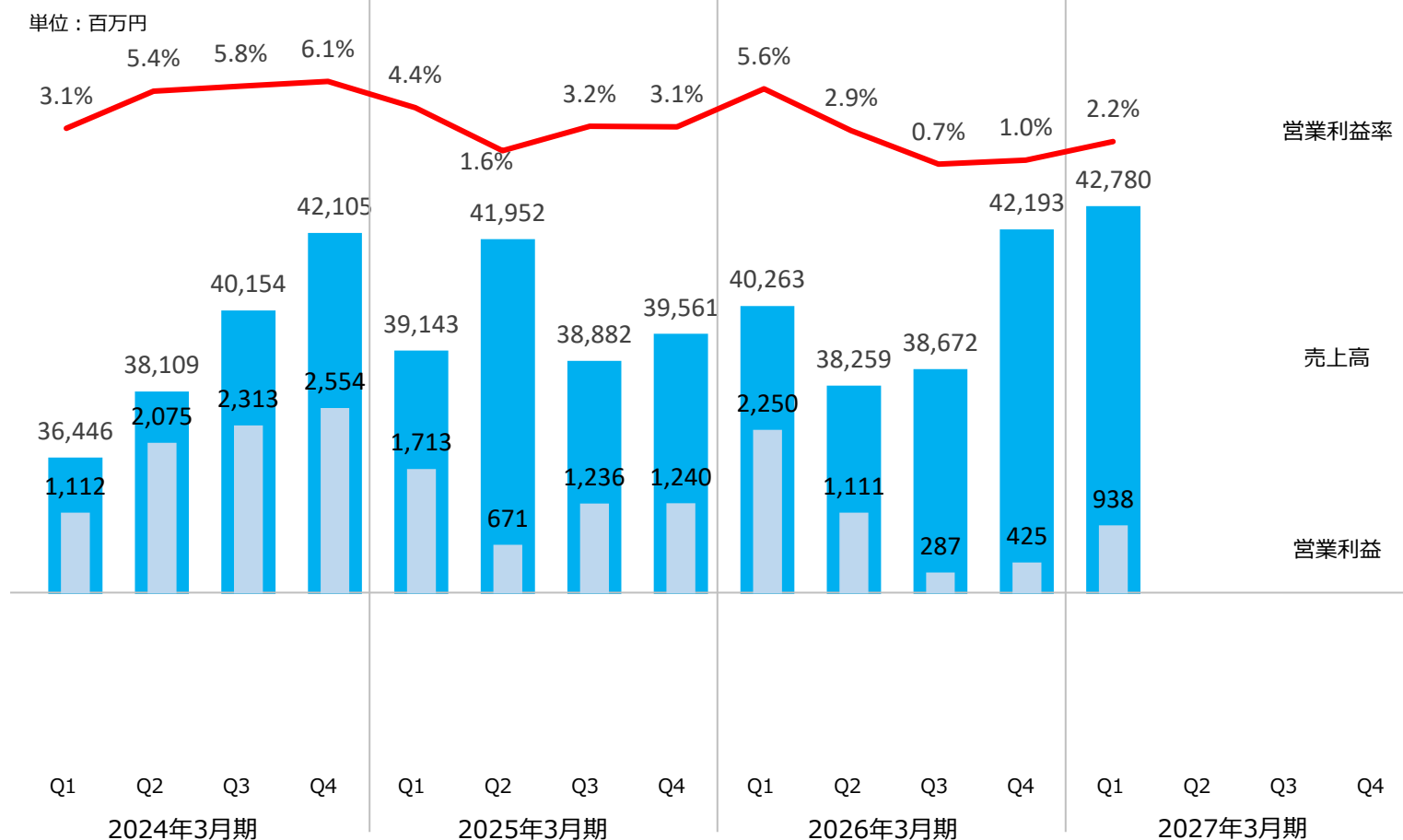
(単位：百万円)

	2026年3月期 第1四半期	2027年3月期 第1四半期	
		実績	対前年同期
設備投資額	2,176	1,443	▲732
減価償却費	1,643	1,853	+210

■ 参考情報：セグメント別四半期業績推移

セグメント別四半期業績推移 <連結>

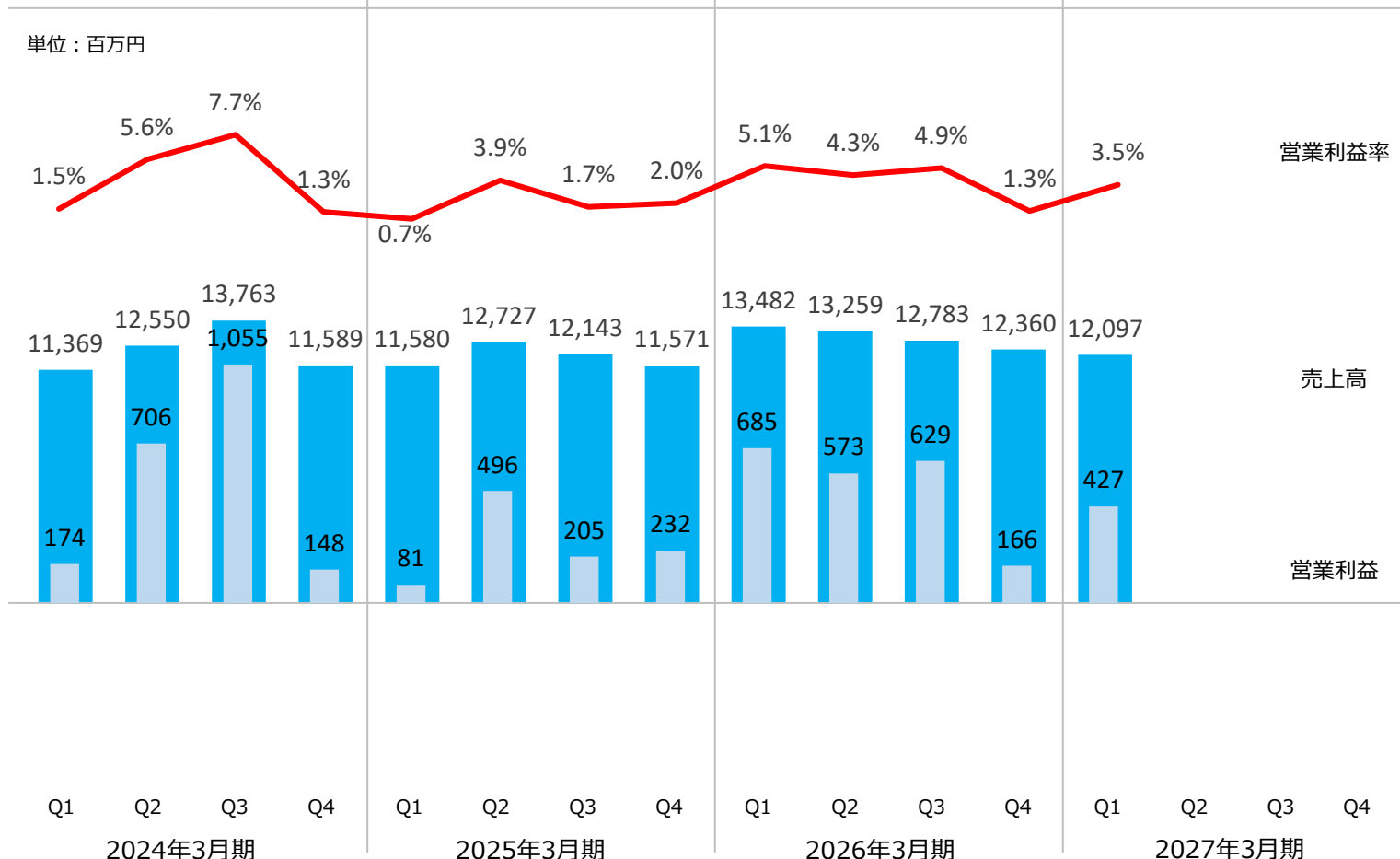
売上高	156,814百万円	売上高	159,538百万円	売上高	159,387百万円	売上高	42,780百万円
営業利益	8,053百万円	営業利益	4,860百万円	営業利益	4,073百万円	営業利益	938百万円
営業利益率	5.1%	営業利益率	3.0%	営業利益率	2.6%	営業利益率	2.2%
為替 (円/USD)	140.6円	為替 (円/USD)	151.6円	為替 (円/USD)	149.7円	為替 (円/USD)	156.9円



セグメント別四半期業績推移 <日本>

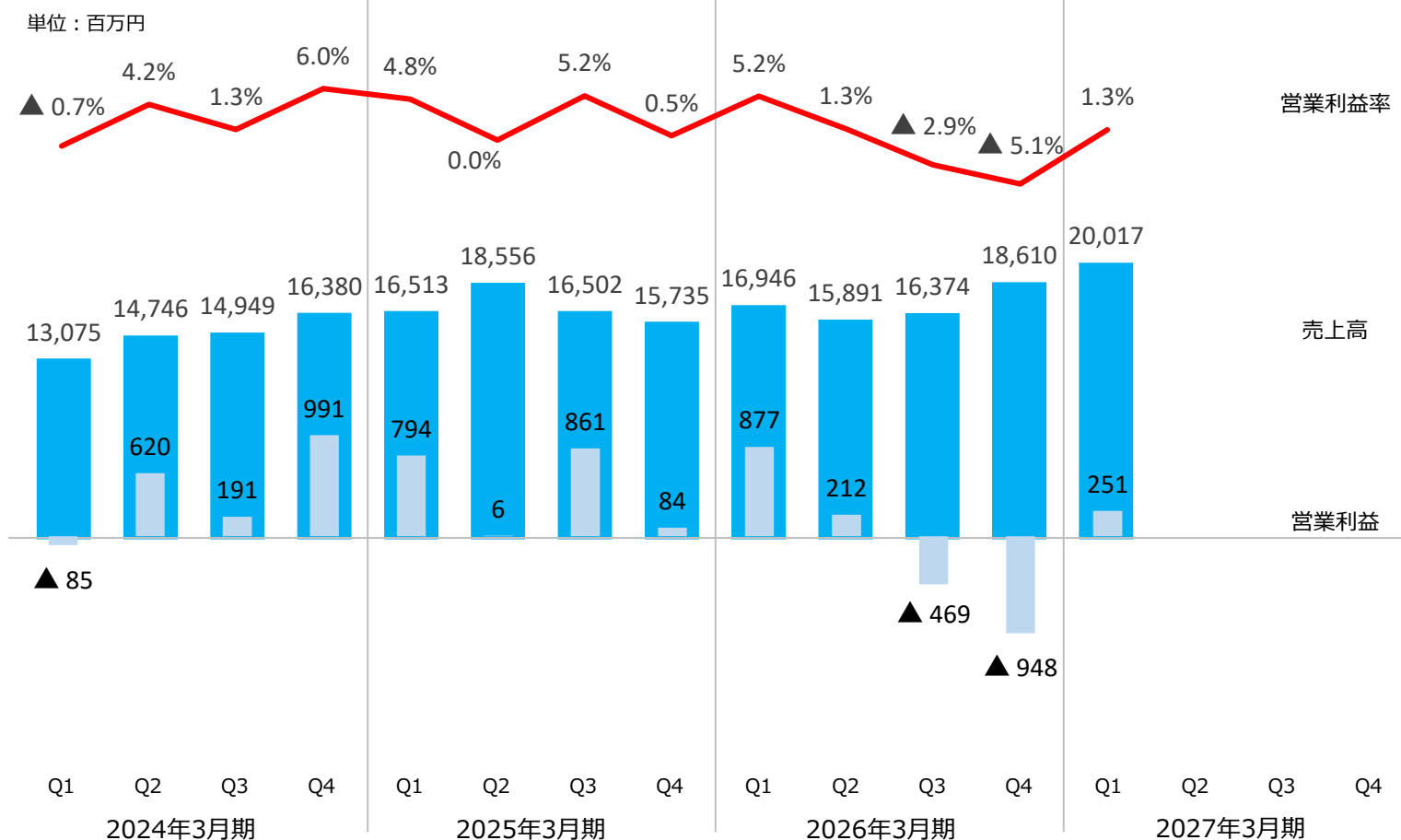


売上高	49,271百万円	売上高	48,020百万円	売上高	51,885百万円	売上高	12,097百万円
営業利益	2,083百万円	営業利益	1,014百万円	営業利益	2,053百万円	営業利益	427百万円
営業利益率	4.2%	営業利益率	2.1%	営業利益率	4.0%	営業利益率	3.5%
為替 (円/USD)	140.6円	為替 (円/USD)	151.6円	為替 (円/USD)	149.7円	為替 (円/USD)	156.9円

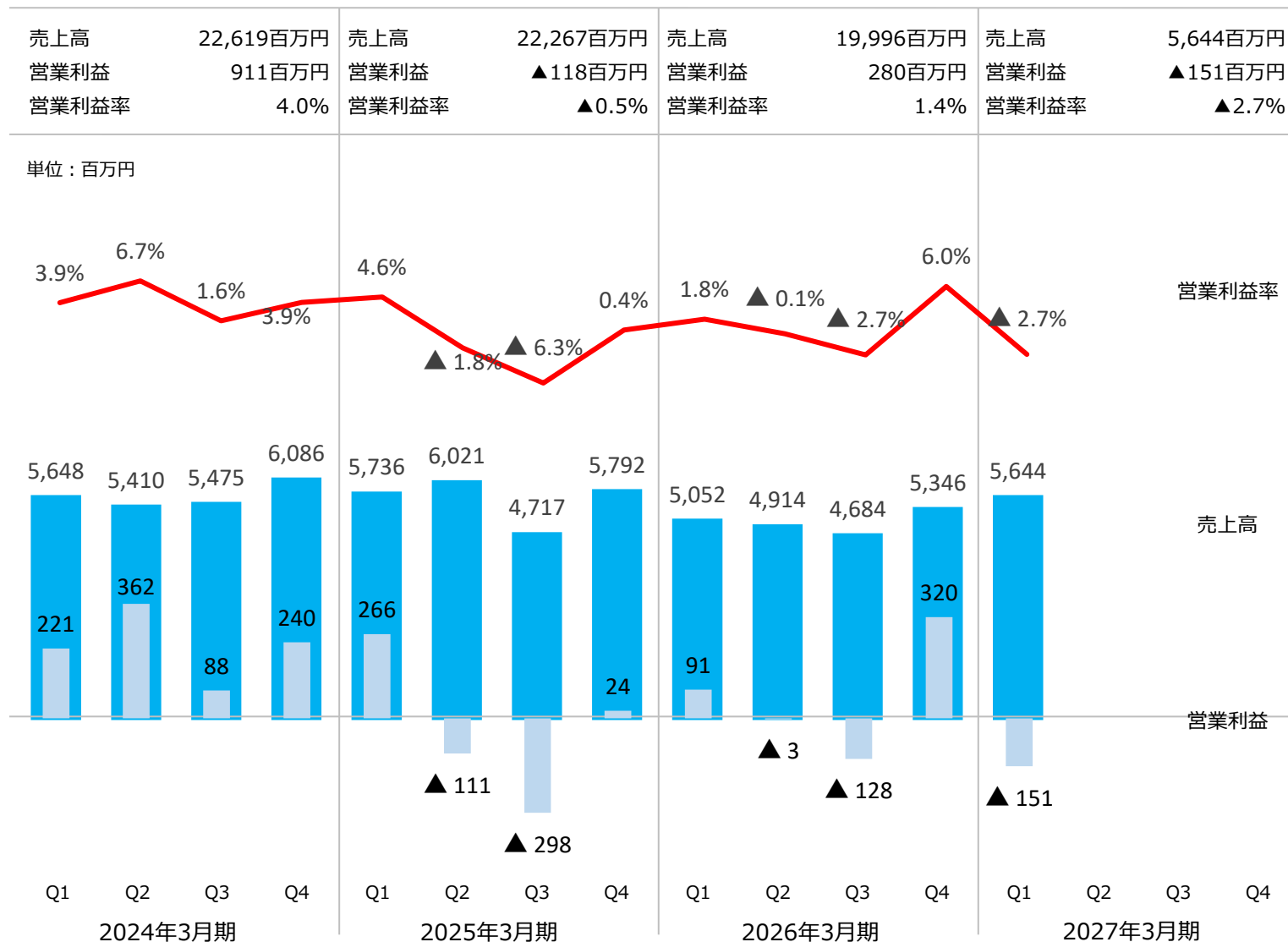


セグメント別四半期業績推移 <北南米>

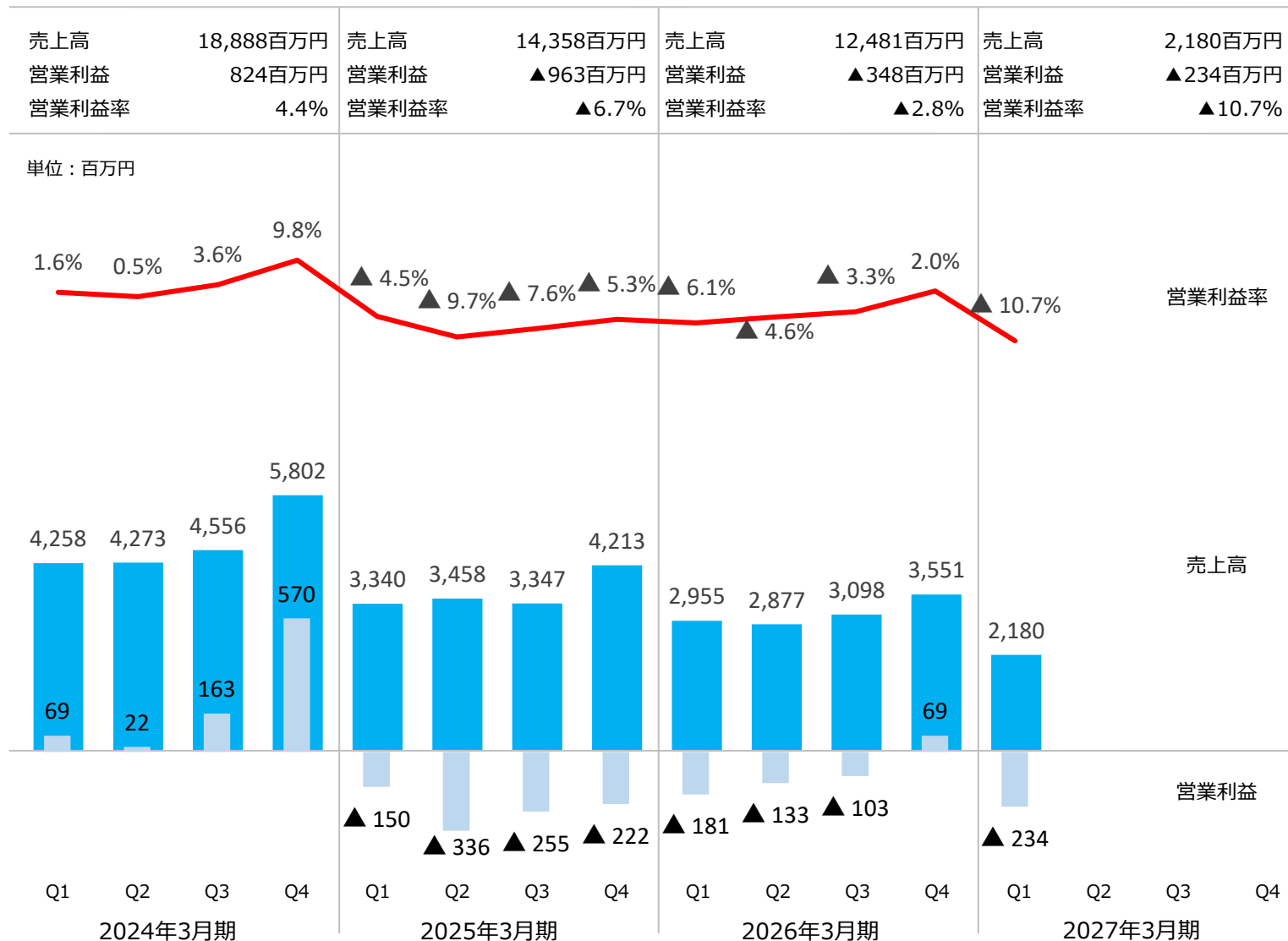
売上高	59,150百万円	売上高	67,306百万円	売上高	67,822百万円	売上高	20,017百万円
営業利益	1,717百万円	営業利益	1,744百万円	営業利益	▲327百万円	営業利益	251百万円
営業利益率	2.9%	営業利益率	2.6%	営業利益率	▲0.5%	営業利益率	1.3%
為替 (円/USD)	140.6円	為替 (円/USD)	151.6円	為替 (円/USD)	149.7円	為替 (円/USD)	156.9円



セグメント別四半期業績推移 <欧州>

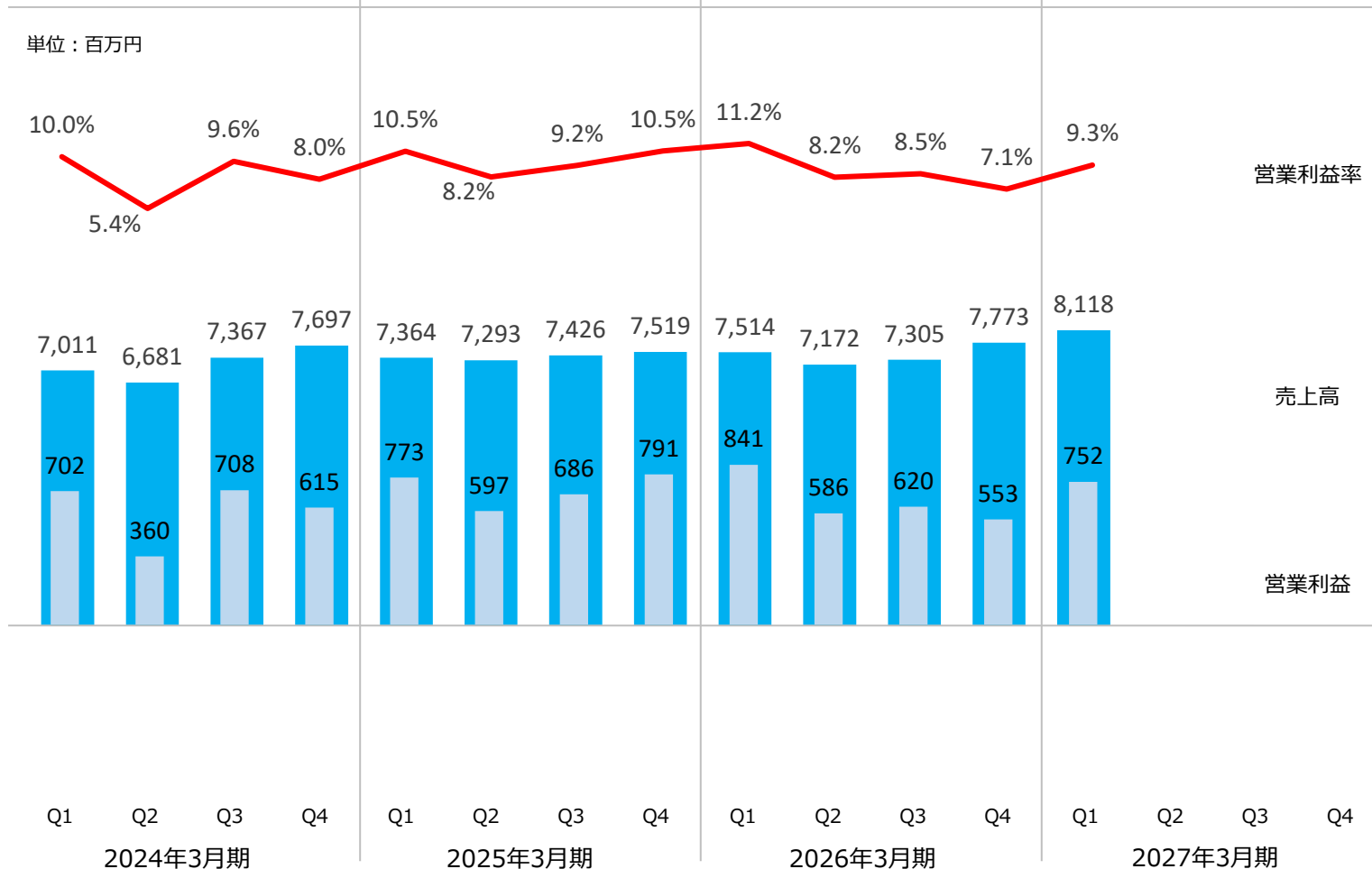


セグメント別四半期業績推移 <中国>



セグメント別四半期業績推移 <アジア>

売上高	28,756百万円	売上高	29,601百万円	売上高	29,763百万円	売上高	8,118百万円
営業利益	2,384百万円	営業利益	2,847百万円	営業利益	2,599百万円	営業利益	752百万円
営業利益率	8.3%	営業利益率	9.6%	営業利益率	8.7%	営業利益率	9.3%



このプレゼンテーションで述べられている三櫻工業株式会社の業績予想、計画、事業展開等に関しましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものです。

マクロ経済や当社の関連する業界の動向、新たな技術の進展等によっては、大きく変化する可能性があります。

従いまして、実際の業績等が本プレゼンテーションと異なるリスクや不確実性がありますことをご了承下さい。また、大きな変更がある場合は、その都度発表していく所存です。